



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R4年6月
編集者 坂口 洋一
No. 60

♪ほっほっ ほたるといっ♪

今年も早、半年が過ぎようとしています。コロナもやや下火になってきているようで喜ばしい限りです。それにとともに、いろいろな集会も少しずつ開催されるようになって来ました。

毎日戦争のニュースを見るのも辛いです。前の戦争ではアメリカの爆撃の中途げまどい、戦後は喰うや喰わずで生き延び、子供時代は、朝鮮戦争のニュースをラジオで毎日耳にし、青春時代はベトナム戦争、そして湾岸戦争と、〇〇紛争、内戦・・・と常に戦争のニュースの中で育ってきた我々高齢者です。

まったく！人間という生きものは・・・

さて、今年も集会所近くの土手に「ホタルブクロ」が沢山咲きました。白、薄紫、ピンク、一重、八重と様々です。町会の役員さんでしようか、竹藪から集会所側の土手まできれいに草を刈ってくださいました。

それでもホタルブクロが咲く一角は、刈らないで残してくださいだったので。なんと心根の優しい方なのでしよう。

夜になったら花々の一つ一つにホタルが入って、ピッカピッカと淡い灯をともしたら、綺麗だべなあって、年甲斐もなく想像をめぐらしました。間もなく転居する「極楽浄土」は、そんなビューティフルな所かも。



福祉委員に8人も！

社会福祉協議会緑ヶ丘支部では、今年も「福祉委員」を募集いたしました。ボランティアとして地区の社会福祉に貢献して下さる方々です。福祉委員も年々高齢化し、減少の一途をたどっています。

今年度はわがきらくな会から、4人の方々が福祉委員になってくださいました。色の薄いエプロンをされている方々が以前から頑張っている先輩の方々、濃い緑のエプロンの方々が新人さん。されてない方々は来年度福祉委員になってくださる方もかもしれません。この世知辛い世の中、少しでも世の為、人のためになるうとしてくださる心意気に敬意を表します。さすがはきらくな会の会員さんです。



夏の花へとお召し変え

春からきらくな畑を飾っていたパンジーから、夏の花のサルビアにお召し変えをしました。

衣替えでしようかね？
夏のギラギラした太陽の下赤や青の美しい花々が皆さんの目を楽しませてくれるでしょう。ダリヤもカンナも順調に育っています。

